



どうも天候だけでなく経済が不順です。雑誌「エコノミスト」にスーパーマンとして表紙を飾った安倍首相ですが、株価のほうは乱高下。黒田日銀が異次元の金融緩和を打ち出した時点に戻ってしまっています。安倍内閣の支持率そのものは依然高いものがあるのですが、アベノミクスの真価が問われる時期がはやくも到来かもしれません。

学校では、考査の時期。生徒だけでなく教えている私たちも作問に採点に評価にと大車輪。今は、生徒による授業評価などもあり、私たちの真価が問われる時期かもしれません。それでも、これを越えると夏休み。もう一歩です。

今月も、そんな多忙な先生方の力になるような情報提供や活動の情報を報告いたします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

6月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 東京部会 (No.59)を開催しました。

日時：2013年6月26日(水) 19時00分～21時30分

場所：日本大学経済学部

内容概略：東京は大雨でしたが、16名の参加者を得て、活発な討議が行われました。まず、篠原代表から部会報告および9月に予定されている「経済教室 in 札幌」の報告がありました。ついで、夏休みの経済教室の進行状況の確認が行われました。申し込み状況では、東京会場の出足が好調で100名を越える一方、大阪はほぼ例年通り、他の研究会とバッティングしている名古屋、福岡の出足がやや悪いという説明がありました。後援手続き、資料や教科書の準備状況の報告も行われました。

情報提供では、社会福祉教育や金融経済教育など各省庁が行っている教育関連事業の紹介があり、経済教育の観点からの問題点が指摘されました。また、公民教育学会で発表された宮城大学の金子浩一先生の経済の授業で教えずらい項目の紹介があり、国民所得、金融、国際収支の三つが中高ともベスト3であることが紹介されました。

授業実践では、前回話題になった宮崎先生(国際高校)の社会福祉に関する授業実践の報告と検討が行われました。また、杉田先生(千葉西高)からは、世代間格差の授業実践プリントが報告され、これも検討が行われました。この二つは

「夏休みの経済教室」で「エコノミストと授業をつくる」で公開、検討される予定です。
最後に、小巻先生（日本大学）から、資料「GDP とその見方」をもとに、
教科書では十分に説明されていない国民所得統計の考え方、使い方が説明されました。
この資料も、「夏休み経済教室」で配布される予定です。
内容の詳細はでき次第 HP に UP いたします。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を掲載します。

■ 夏休み経済教室が受付中です

日程は以下のとおりです。

- 名古屋地区：8月1日高校向け，2日中学向け（ウインクあいち）
- 大阪地区：8月5日中学向け，6日高校向け（天満橋・国民会館）
- 福岡地区：8月8日中学向け，9日高校向け（天神ビル）
- 東京前期：8月12，13日 高校向け（東証）
- 東京後期：8月19，20日 中学向け（東証）

参加申し込みは以下の HP から可能になっています。

<http://www.tse.or.jp/learning/education/kyoin/natsu-keizai/index.html>

講演に真壁昭夫先生（信州大）、景気変動を小巻泰之先生（日本大）、
農業問題を野間敏克先生（同志社大）、世界恐慌を篠原代表（同志社大）などの
講義がが予定されています。また、今年が目玉企画「経済の授業をエコノミストとつくる」
という現場教員と経済学者の連携プログラムを新たに各会場で行います。
高等学校での授業提案は先月、今月の東京部会で検討がされています。東京会場では
大竹文雄先生（大阪大学）の講義もあります。中学校向けでは、経済教育の関係者も
含めての「みんなで話そう」の時間も予定されています。

同種のセミナーが名古屋、福岡で同時期に開催されます。ちらしや「参加の勧め」
をご覧ください、趣旨と内容を検討のうえご参加いただければと思います。
特に名古屋、福岡地区で、お知り合いの先生方がいらっしゃったらお声をおかけ
いただければ幸いです。

■ 「先生のための経済教室 in 札幌」を開催します

今回は、北海道金融広報委員会、金融広報委員会と共催で、9月に開催いたします。

日時：2013年9月14日（土） 9時30分～16時30分

場所：北海道教育大学札幌駅前サテライト

札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55ビル4階

内容：法教育と経済教育 日本大学経済学部教授 中川雅之

金融教育のすすめ方 北海道金融広報委員会事務局長 武田吉孝

経済の授業をエコノミストと作る〈社会福祉問題〉

大阪狭山市立南中学校 奥田修一郎、篠原 総一

市場経済の考え方と教え方 同志社大学経済学部教授 篠原 総一

エコノミストと語ろう！ 〈TPPなどを授業でどう扱うか〉

篠原 総一、中川 雅之、武田 吉孝、新井 明

内容の詳細、申し込み方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/index.html>

■7月以降の予定

定例部会のお知らせ

(1) 大阪部会 (No.34)を開催します

日時：2013年7月13日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト

参加方法など詳細は、以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka34flyer1.pdf>

(2) 京都部会 (No.20)を開催します

日時：2013年7月19日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法など詳細は、以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto020flyer.pdf>

■ネットワーク関連団体の動き

(1)金融広報中央委員会からのお知らせ

A) 金融広報中央委員会「教員のための金融教育セミナー」のご案内

金融広報中央委員会主催「教員のための金融教育セミナー」が、7月29日に開催されます。

詳細は以下の URL をご参照ください。

<http://www.shiruporuto.jp/event/2013/13semi/>

B) 金融広報中央委員会「第10回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」のご案内

金融教育に関する小論文・実践報告コンクールを実施いたします。

募集要項は以下の URL をご覧ください。

<http://www.ron2013.jp/>

にあります。先生方の積極的な応募を期待しています。

(2)野村総合研究所からのお知らせ

A)「NRI 未来創発キャンパス 2013」のご案内

大学生・大学院生を対象にしたシンポジウム

7/8 大阪会場、 7/9 東京会場です

今回のテーマは「2030年に向けた未来のつくりかた」です

詳細は以下の URL をご覧ください。

<http://www.nri.co.jp/publicity/campus/index.html>

B)「NRI 学生小論文コンテスト」を応援しています。

野村総合研究所が毎年開催している「NRI 小論文コンテスト」が本年度も実施されます。コンテストの内容、応募方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.nri.co.jp/publicity/contest/index.html>

(3)第 31 回 授業のネタ研究会 IN 関西

日時：8月24日 9:30~18:00

会場：東大阪市市民会館（近鉄永和駅下車すぐ）

(4)社会科民間教育団体交流会

日時：8月1日 9:30~17:00

会場：高津ガーデン（近鉄上本町下車5分）

【 3 】 授業のヒント

■ コラボ授業で統計を使いこなす

先日、東京都の統計局が日本統計学会の表彰を受けたという新聞記事が掲載されました。早速、記事で取り上げられている、「学ぼう統計」のページから、中学生向けの教材シミュレーション（自動販売機の設置場所のゲーム）を見てみました。内容は、公民の経済の導入部で使われているコンビニ開店のシミュレーションとほぼ同じでしたが、統計を分析して意思決定をしてゆくところに特色がありました。

ビジネスの世界ではビッグデータが話題になり、統計本が売れるなど統計に注目が注がれていますが、教室ではなかなか統計を扱うことができない現実があります。もちろん、資料集などに掲載されている統計表を読ませて変化を確認するなどの作業はさせますが、統計そのものの成り立ちやその特質、利用上の問題までを教える時間はありません。そこで、協力願うのは数学の先生と、情報の先生です。数学では確率・統計を学ぶことになっています。情報でも表計算ソフトを使って統計処理を教えます。この二つの教科の先生方と情報交換をして、コラボ授業をやってみませんか？もし統計の部分になったら公民や政経の教科書にあるデータを使って授業を進めてもらうという手があります。情報の授業では、経済成長率などの計算を実際に行わせ、グラフを作成させるなどのコラボ授業ができるかもしれません。

コラボ授業に持ち込むためには日頃の情報収集と人間関係がミソでしょう。この先生となら大丈夫というのは期待値計算かもしれませんね。

（新井）

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

学会出席のために岡山に行ってきました。学会のある街に行くのは楽しみです。いろいろなところにすでに書いていますが私は、住みたい町の条件があつて、第一、旧制高校のあつた街、第二、城下町、第三、海が近い、第四、路面電車がある町、そして可能なら温泉が近くにあるともっとよいという贅沢なものです。要は、地方で文化がしっかりある適当な大きさの町ということになります。海が近い、は食べ物がおいしいということになります。岡山は、温泉はないけれど4つの条件はクリア。縁があつたらこんな街で生活がしたいと思つていますが、見果てぬ夢に終わりそうです。ちなみにこの5つの条件をクリアしている町はどこでしょう？ (新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇